

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録

会 議 名		令和7年度 第2回 大和市子ども読書活動推進会議
開催日時		令和7年10月14日(火)15時30分～17時
開催場所		文化創造拠点シリウス 610大会議室
出席 状況	参加委員	<p><推進会議委員></p> <p>今宮 智子、伊禮 利奈、内田 久美子</p> <p>脇田 奈緒子、長嶋 智美、福井 朱里(順不同・敬称略)</p>
	欠席委員	大川 伸子、古木 裕彦、今井 恵子、良知 仁美(敬称略)
	市側出席者	<事務局職員>(3名)
	指定管理者	<図書館スタッフ>(1名)
	傍聴人人数	0名
公開非公開の状況		■公開 □非公開 □一部非公開
審議又は検討経過 及び結果		<p>1. 開会</p> <p>・委員の出席状況の確認(10名中6名出席)</p> <p>・配布資料確認</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)子どもの読書活動に関するアンケート調査について(資料1-1,2)</p> <p>◎事務局より、資料を基に、子どもの読書活動に関するアンケート調査について説明。</p> <p>委員:児童生徒への質問について、「学校以外の図書館や図書室」の記述がわかりにくいと思うので、保護者への質問のように「図書館や学習センター図書室」と書いた方が混乱しないと思う。</p> <p>学校への設問で朝読書とあるが、昼読書を行っている学校もある。学校の実態も変わっているので、読書活動の取組みをしているかを聞きたいのであれば、全校で読書をする時間を確保しているかどうかという聞き方がよい。</p> <p>会長:保護者への設問の「子どもの読書推進のために現在行っていることは何ですか」これは漠然とした回答が来ても具体的な計画に落としにくいのはわかるが、家読の発展や広報に繋げられる設問ではないかと疑問に思った。</p> <p>事務局:この設問に限らずほとんどが選択問題になっている。</p> <p>会長:選択肢に家読のことが入っておらず、問17の家読に取り組んでいるかの選択肢も回数を問うものなのであれば、具体的なところを聞くべきではないか。</p> <p>委員:学校への質問の問4に「読書会等」とあるが、POP作成や本を紹介するような活動は入れているのか、本について話し合う機会に限定していないのであれば、読書会、POP等とした方がいい。</p> <p>また、問9は「学校図書室」となっているが「学校図書館」が正しい。</p>

委員：児童館への設問に読みきかせを実施しているかとあるが、児童館で読みきかせは実施しているのか。

事務局：前は 15.8%の児童館が読みきかせを行っていたと回答している。

会長：児童館の職員には頑張ってもらっているが、放課後児童クラブや寺子屋など、放課後を過ごす場所の選択肢が増えていることが回答の理由かもしれない。

(2)子ども読書よむ読むプラン実施計画進捗点検について(資料 2)

◎事務局より、子ども読書よむ読むプラン実施計画進捗点検について説明。

質問等なし

◎事務局より、第1回資料に沿って子ども読書よむ読むプラン実施計画進捗状況について説明。

委員：小学校で読みきかせをやっているが、今年度は夏休みが長くなったために、朝学習の時間が無くなってしまい、校長先生から今年度は読みきかせを実施しないと言われてしまった。今は、月1回の昼休みに実施できないかがんばって調整しているところで、今年度中に1, 2回実施できるかもしれないが、その状況は反映されないのか。

事務局：令和7年度実績として反映されてくるかと思う。

委員：保護者からの読みきかせの機会は減っているが、子どもから子どもへの読みきかせを授業で行っていたりする。計画の数値が「読みきかせを実施している学校数」なので、子どもから子どもの読みきかせも含まれているかもしれない。自分の学校でも、朝の読みきかせはなくなったが、三年生の単元の中で一年生に読みきかせをしにいく活動がある。

事務局：別の方策で「ボランティアの活動場所の提供」を挙げているので、そこには影響があるかもしれない。

会長：今後、現状を反映して目標値を増やすなり減らすなりの必要がある。今の目標のまま、BやCになっても計画としてはあまり有効ではないかもしれない。地域で読みきかせをしている身としての体感ではあるが、一昨年くらいから飽和状態になり、小学生向けの読みきかせや年長さんへの読みきかせを実施しても、4, 5, 6歳はほぼ来なくなっている。20年近く続いている計画の中で、小学生向けの読みきかせはある程度飽和したとして、今後は子ども達自身の読書活動を考える時期に転換してきているのかもしれないと思う。

読みきかせをする、読書会をすること自体が、最終目標ではない。おはなし会の実施はできているが、小学生たちが多く来ていたのは10年前の話。放課後の過ごし方も多様化し、寺子屋、放課後児童クラブが頑張っており、子どもが地域の手から離れた感覚がある。

委員：でごいち親子文庫でも人が減っていて、おはなし会でも年齢層が固定されている。おばあちゃんが近所の小学生を連れてきてくれたりもするが、今の小学生は忙しいのだと思う。

委員：学年の半分以上は放課後に児童クラブに行くので、家に帰る子が純粋に減っていることもあると思う。平日の何時からおはなし会となっても、児童は一度家に帰らなければいけないし、低学年は親がいないと来れない。児童クラブの立場としては読みきかせをしてくれると助かると思うが。

会長：次の計画は、読みきかせをさせるための目標ではなく、子ども自らが読書活動の面白さを見つける何かができるような計画になっていくと思う。学校の情報収集もしながら計画に活かして行きたい。

事務局：セカンドブックは令和6年度で絵本引換券の配付を終了したため、令和7年度は配付冊数の報告のみ、令和8年度は目標なしとする目標値に修正をしたい。

また、第1回会議で、セカンドブックの配付が終了する代わりに3歳6か月健診の場でブックリストを配付できないかという意見があった。ブックリストの作成は図書館の指定管理業務のため、1,900部増えることを図書館としてどう考えるかということになる。

図書館：持ち帰って後日の回答としたい。

会長：図書館は展示物をがんばっていて、3階はすてきなものになっているが、中高生を対象としたときに、3階で中高生を見たことがない。そもそも3階に中高生が来ているのか。

図書館：すみ分けとしては、ティーンズは4階にあるので、そちらに行っていると思う。去年、図書委員会というイベントで自主的に集まった中高生と展示や広報誌を作ったりをしている、4階にはティーンズ、YAを配架しており、5,6年はちょうどラノベ等を読む子もいるので3階と4階で垣根を作らず繋げていくことを考えていきたい。YAと子ども図書館それぞれのキャラクターを使った読書イベントを積極的行い、図書の紹介の幅を広げる努力はしている。

事務局：方策23番「中央林間図書館の機能拡張」について、計画期間中にハード面での大きな改善等が見込まれないことから、「中央林間図書館の利用促進」とし、外部団体との連携事業を目標数値とする変更を行いたい。

事務局：方策25番「絵本蔵書の充実」について「絵本のまち やまと」ではなく、「こども図書館」を主眼にした内容への変更を行いたい。

伊禮委員:30番「絵本セット貸出の実施」について、でごいち親子文庫でも貸出しを受けているが、今回から差し替えに変わったことの原因は何か。図書館の拠点までは運んでくれるとしても、30冊は運ぶには重い。もともと利用している団体で、なかなか取りに来られないところもあるかと思うと、貸出件数が減ってしまうのではないかと思うが、どう考えているのか。協力してくれる団体に貸し出すことで始まったと思うが、なぜ変わったのか。

事務局:予算的に厳しくなったことを踏まえ、費用対効果の観点から見直したもののだが、単純に廃止ではなく、良い部分は残したいと考え、団体貸出の一部とした。これまで通りではないが、近くの施設までは運べるような運用とし、何とか環境は整えることができたと思う。サービスが低下することは避けられないが、可能な範囲で団体の負担を少なくするように工夫している。

委員:協力している側としては増えるといいなとは思っているが、うまく差し替えができればいい。

事務局:33番「推薦図書等の展示コーナーの設置」について、各学校の児童生徒の何割が読書感想文を出してほしいとの質問があったが、学校や学年ごとの感想文の集計はとっていないとのことだった。全児童生徒の割合でみると約16.5%の児童生徒が読書感想文を出している。

会長:何十年か前は必ずやらなければ夏休みの宿題の中に読書感想文があった。そのうちに、自由になり、読む本も自由になり、その時代に適応した宿題の出し方に変わっている。その時に、16%の人に推薦図書を紹介するより、84%の人に紹介する方が効果的なのではないかと思った。

実際に夏休みのこども図書館にいと、調べ学習や研究関係は子どもの熱量を感じるが、読書感想文は先細りなのかなと思っの質問だった。効果的で活気のある展示コーナーが続けばよいと思っている。

会長:小学校の朝読書で活動をしていたボランティア団体の活動が減ること、朝読書がなくなっていくことに関して、評価がどうしても下がってくるので、小学校の読書時間の確保や取り組みに適応した計画にできれば良いと思っっている。

事務局:方策40「学校司書連絡会・研修会の開催」について、指導室から研修回数を見直しがあり、年間の開催予定数が目標数よりも下がってしまうとの連絡があったので、来年度以降の目標数を3回にする修正を行いたい。

事務局:方策30番「絵本セット貸出しの実施」について、手厚いサービスができていた時期の目標のままになっている。現状維持でも難しく、できても年

	<p>間2, 3団体の増と考えると、35, 40, 50はなかなか言えない状況にある。令和8年度で、30前後の目標としたいがどうか。</p> <p>会長：絵本セットとして団体貸出に紐づけて行っているとのことだが、絵本セットは図書学び交流課と団体貸出としての図書館の担当になるのか。</p> <p>事務局：図書館の担当になる。</p> <p>委員：今回、継続確認があったが、やめた団体もあるのか。</p> <p>図書館：やはり高齢の方で持ってきてもらえないのであれば、という団体もあった。図書館でフォローできるところはある程度の工夫をして、大幅な減少は防いでいる。</p> <p>委員：絵本が変わることが楽しいし、手に持ってくる子どもたちのためにも継続してほしい。</p> <p>会長：今回の意見を基にして、事務局の方で最終案を作成していただく。最終案の確認は私に一任させていただく形でよろしいか。</p> <p>異議なし</p> <p>(3)その他</p> <p>◎事務局より、次回大和市民まつりにも参加することを報告、詳細は2月下旬開催予定の第3回会議で説明する。</p> <p>3. 閉会</p> <p>以上</p>
--	--